

平成21年度再評価

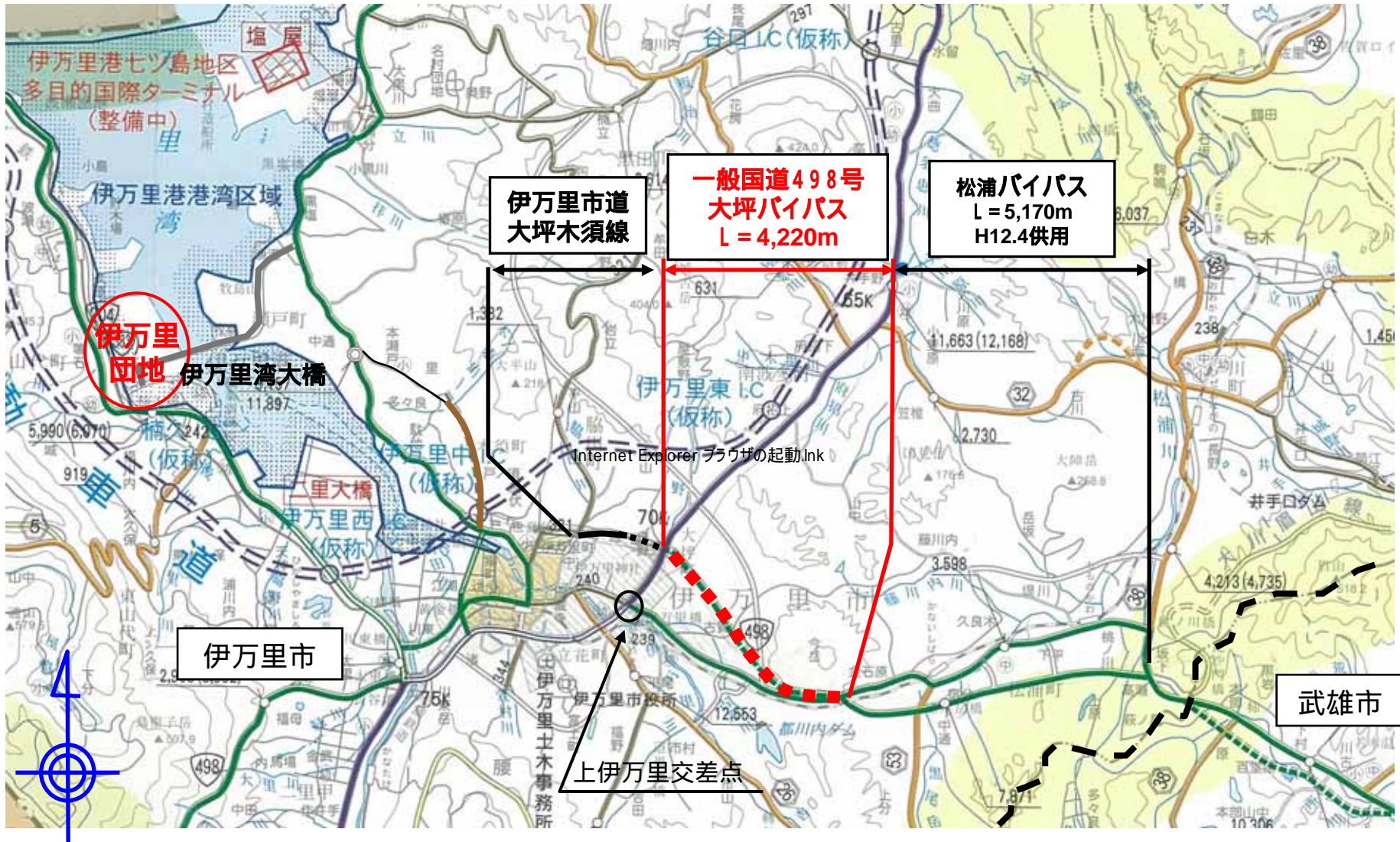
路線名：一般国道498号(大坪バイパス)

事業名：道路改良事業

事業地：伊万里市大坪町

(着手より10年経過のため再評価)

一般国道498号 大坪バイパス 位置図



事業目的



バイパス(歩道を含む)整備により

幅員・良好な線形を確保、渋滞解消を図る

事業概要

- 全体計画延長：L = 4, 220 m

(暫定2車整備)

事業費：約70億円

工期：平成12年度～平成22年度(予定)

事業内容：改良工 L = 3, 100 m

用地買収 162, 152 m²

家屋補償 32戸

	平成20 年度まで	平成21 年度	平成22 年度以降
事業費(億円)	54.4	8.4	7.2
進捗率(%)	77.6	89.6	100
用地進捗率(%)	97.0	100.0	100

一般国道498号 大坪バイパス 平面図

一般国道498号 大坪バイパス L=4.2km

バイパス区間 L=3.1km

現道拡幅区間
L=1.1km



上伊万里交差点

凡	例
	H20年度迄施工箇所
	H21年度施工箇所
	次年度以降施工箇所

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量が増加傾向にある。
 - H 9交通量 12,247台/日
 - H11交通量 13,475台/日
 - H17交通量 14,565台/日
- H15年3月に伊万里湾大橋が開通。
- 伊万里港国際コンテナターミナルのコンテナ取扱量の増加に対応するため、新たな岸壁の整備が進められている。
- 伊万里湾岸の伊万里団地に、企業進出が相次いでおり、今後も交通量の増加が見込まれる。

費用便益分析

$$\text{費用便益比 (B / C)} = 1.4$$

【便益】

走行時間短縮便益	=	86.7億円
走行経費縮小便益	=	12.1億円
交通事故減少便益	=	12.5億円
合計		111.2億円

【費用】

事業費	=	74.0億円
維持管理費	=	2.9億円
合計		76.9億円

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 建設発生土を盛土材へ有効活用するため、それを考慮した計画や工程の調整を行っている。

(代替案の検討)

- ・特に無し

対応方針(事業課案)

- 当初より、本事業の必要性・重要性は変わらない。
- 現在も、依然として円滑な交通及び交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。